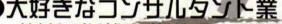
## われら信

大好きなコンサルタント業

No.62



~挫折を乗り越え、導かれるように天職亡出会う









プロフィ

信用金庫や民間企業の講演会などに奔走する毎日。FP業務 の王道を極めたい人へ-ほ践版FP成功の法則』(金融財 政事情研究会)では実体験に基づく「達人の技」を披帝

さとう・よしみち 1969年7月王子信用金庫(茨城北信用金庫)入庫 本店営業部、本部経理を経て研修業務を10年間、 碗いて相談業務を18年間担当 2008年3月城北信用金庫退職 2009年4月フイナン・コンサルティング創設

今、地元(王子)の企業主を対象とした「パワーハ ラスメント研修」の準備に追われている。その後は、 兵庫県淡路島の農協、次は長野県の信用金庫へ の「保険窓販研修」と続いている。秋には、「厚生年 金基金」をテーマとした研修をする予定だ。本業は、 社労士業務を中心とした経営コンサルタント業。年 間50数件の講師業と顧問先企業の労務問題の 解決策を提案する。この2つが実に楽しく、自分にと って天職と思える。しかし、この職は突然降って湧い たものではない。運に恵まれ、少しは悩み苦しんだ からこそ、実現したのだと思う。

今でも苦しかった10代後半から20代前半の頃を 思い出す。受験や就職の失敗など、挫折の連続で あった。辛うじて某私立大学の文学部に合格した が、希望の専攻ではない。2年次に転部試験を受 けたが、すべて不合格。中退するわけにもいかず、 不本意ながら心理学を専攻。"取りあえず"カウン セリングを学んだ。これが今の仕事に役立っている から人生はわからない。

進級するにつれ就職を意識するようになった。不 本意ながら地図会社に就職したが、上司とトラブル になり3日で退職。その後は、今風にいえばフリータ 一だ。両親には退職したとは言えず、出勤する振り をして、開通したばかりの東西線の早稲田から西船 橋を行ったり来たりしていた。アルバイトをしたが、研 修帰りの新入社員らしき人を見ると、羨ましかった。

フリーター3か月後、中途採用をしていた王子信 用金庫に拾われるように再就職した。まず、本店に 配属となり、間違いばかりして、先輩から何度も叱責 を受けた。その頃、当時の会長から「景気は自分で 作るものだと言われ、深い感銘を受けた。「自己責 任を他に転嫁しない」と心に誓った。

4年後、営業店から本部へ異動となり、銀行業務法 務検定を受けて運よく金庫内トップで合格。不本意 な人事異動となり、営業店には負けられないと思っ たのかもしれない。そのことが「知力のない自分でも やればできる」と大きな自信となり、公的資格を武器 に差別化を図ることにした。土日のどちらかで専門 学校に通い、帰宅後の時間は受験学習に費やした。

のちに、嫁ぐ娘から「お父さんは勉強ばかりして遊 んでくれなかったけど、私たち家族のために頑張っ たことを感謝しています」と言われ、涙が出た。信用 金庫業務に活かせる資格を狙って銀行業務検定 の法務・財務・税務2級、宅建、社労士、中小企業 診断士(1次)、ファイナンシャル・プランナー技能 士1級、日商販売士1級、DCプランナー1級と取 得していった。

本部では、事務センター、経理、研修や相談業務 を担当させていただいた。上司にも恵まれ、毎月論 文の添削をしていただき、研修業務ではインストラ クションの技法、相談業務では顧客説明の作法を 学んだ。いうまでもなく今の講師業と相談業務の仕 事に活かされており、恵まれた金庫人生だったとい えよう。

ただそれは、自分から求めたものというより、配属さ れて職務を果たしていくうちに自ずと扉が開かれて いったように感じる。これはどんな職務にも通じるの ではないだろうか。この仕事を通して自分をどう成長 させていくか、その課題を見つけることである。

私の好きな言葉は「自己実現」「やればできる」 「自助努力」。できればこのまま91歳まで今の仕事 を続けたい。なぜなら、自分の人生、悔い(91)がな いようにと思うからである。それまで健康に留意し、 楽しく自己啓発を続けたい。